

令和3年度 事業報告

公益社団法人 八王子市シルバー人材センター

【概要】

公益社団法人八王子市シルバー人材センター（以下、「当センター」という。）は、社会参加の意欲ある高齢者に対し、就業機会及び社会奉仕活動の機会を確保し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目的に事業展開を図ってきた。

第3次中期5カ年計画の4年目として、次年度の最終年度に向けて数値目標達成を念頭に置き取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、受託件数・就業率ほか計画目標値に及ばず、感染防止コスト（通信運搬費等の負担増）が大きく、収支均衡の目標も達成することができなかった。

その中で、新型コロナウイルス感染症の発生により大学からは教室消毒業務、八王子市からは医療従事者に宛てたエール便の発送業務等を受けるなど会員の就業機会に確保・拡大に結び付く新たな受注もあった。

派遣事業については公共事業の学校施設管理事業を請負から派遣へ切り替え、87校211名もの会員が派遣事業に就くことができた。また、就業開拓専門員が企業を中心とした訪問活動を行い、新たな契約・受注拡大につなげることができた。それにより新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも2億6千万円を超える事業実績へ成長することができた。

また、会員増強では人数制限をしながらも入会説明会を毎月開催し、12月末には2,700名を超える会員数となった。3月末現在2,560名、前年同期比で29名増となった。会員が協力して行うボランティア活動は、11月の浅川河川清掃ボランティア活動、いちよう祭り清掃ボランティア活動のほか12月からは子ども食堂などを支援するボランティア活動として横川町にある「フードバンク八王子えがお」に食品提供をする活動も始めた。

安全就業については令和2年度17件の傷害事故に対し12件と減少はしているが計画目標である0件には遠く、転倒が7件と大きな割合を占めている。対策として、「おおるり」で繰り返し注意を呼び掛けるとともに、1月には当センターの産業医から「転倒とフレイル（※）」をテーマにした健康講話を開催した。

昨年度から続く、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言、まん延防止措置などにより事業活動や就業が制約される状況の中、様々な工夫により新型コロナウイルス感染拡大前の一昨年度並みに事業収益を回復することができた。

新型コロナウイルス新規感染者数の減少が見られない中、引き続き会員の健康・安全を第一に、「地域に根差した信頼できる公益社団法人」を目標として邁進する所存である。

※ フレイルとは、加齢によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態のこと。

【事業実施状況】

令和3年度に作成した事業計画及び第3次中期5カ年計画に基づき、社会情勢の変化や組織体制の改善に対応しながら以下のとおり事業を実施した。

1. 普及宣伝活動

- ①広報紙の発行「生きがい八王子」1回、「おおるり」12回を発行して事業のPRに努めるとともに情報の提供を行った。
- ②毎月2回事務所内に就業情報(毎月10日と25日)の掲示及び配布を行った。
- ③会員専用オンライン情報提供サービス「Smile to Smile」の活用を推進した。
- ④令和2年度に引き続き「市役所窓口配架封筒への広告掲載」「市役所正面玄関デジタルサイネージ看板」「広報はちおうじ」「八王子駅前マルベリーブリッジ横断幕」で啓発を図り、3月に配布したごみカレンダー令和4年度用も会員募集の広告を掲載した。また、令和2年度末に契約したシルバーの広告が掲載されている「市のごみ指定袋」も市中に出回った。東京しごと財団主催の写真展にもPR写真の出展を行った。
- ⑤公式ホームページの内容充実を図り月3回以上の更新を徹底した。基本構成の見直しやブログページの運用などを通して利用者増加・イメージ向上に努めた。
- ⑤イベントの開催、参加について
 - これからシルバー応援フェスタ
 - ・主催者 (公財) 東京しごと財団
 - ・実施日 10月7日(木)
 - ・場所 レンブラントホテル東京町田
 - ・参加人数 職員3名
 - ・来客者 4名(八王子市在住者)
 - いちよう祭り
 - ・主催者 八王子いちよう祭り祭典委員会
 - ・実施日 11月20日(土)～21日(日)
 - ・場所 陵南公園他
 - ・参加人数 27名
 - ・来客者 1,145名
 - 地域デビューパーティー
 - ・主催者 地域デビューパーティー802実行委員会
 - ・実施日 3月6日(日)
 - ・場所 オクトーレ(八王子市学園都市センター11F)
 - ・参加人数 理事3名
 - ・来客者 110名

2. 調査研究

センターの在り方や方向性の検討、女性会員が望む就業先の研究や会員増強など時代に沿った運営を実施した。

- ①未就業会員を減らすため、新入会員全員から就業希望職種をヒヤリングし、明確な希望先がある場合には職種班を紹介しつつ、希望職種の傾向から就業開拓の方向性を検討した。
- ②総務委員会理事が11月に町田市シルバー人材センターへ、3月には杉並区シルバー人材センターへ独自事業による販売事業や理事報酬の件ほか事務局運営について情報収集を行った。
- ③女性委員会ときさらぎ班の代表会員が、2月に日野市シルバー人材センターのリサイクル事業所へ展示販売所視察を行った。
- ④会員及び発注者へのアンケート実施

2月から3月にかけて、発注者および会員に対してアンケートを実施した。当センターの評価や在り方について検討する重要な情報を得ることができた。

| | | | |
|----------|------------|------------|-----|
| 発注者（事業者） | 発送数：207件 | 返答数：122件 | 59% |
| 会員 | 発送数：2,722件 | 返答数：1,682件 | 62% |

3. 相談

①入会説明会について

新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言やまん延防止措置の発令により、密閉・密集・密接の三密を避け、感染防止対策を講じながら毎月第2金曜日に入会説明会、第3金曜日に入会面談を大横保健福祉センターで開催したほか、東部交流室でも入会説明会及び入会面談を6月・9月・11月に実施した。さらに、緊急事態宣言中での会議室貸出中止対応として、事務局カウンターにおいて入会個別対応も実施し、新入会員の確保に努めた。

入会説明会参加者（合計 382 名）

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 40人 | 中止 | 63人 | 27人 | 19人 | 41人 |
| 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 31人 | 39人 | 26人 | 35人 | 25人 | 36人 |

②入会面談について

理事と事務局職員による入会希望者との個別面談において、申込書類の確認や入会後のイメージなどについて一人あたり20分から30分程度のヒヤリングを実施した。

③イベント時の入会促進活動

いちよう祭りや地域デビューパーティーへ参加した際、ブースで当センターのPRを実施し、その場で入会希望者に具体的な手順の説明まで行った。

4. 就業機会の開拓及び提供

会員の就業率を高め、より多くの生きがいづくりに寄与するとともに地域社会への貢献を目的として就業機会の開拓及び提供を実施した。

- ①令和3年度は就業開拓専門員を引き続き配置し就業開拓に努めた。4月から3月までの訪問件数は605件、新規発注者件数は766件であり、就業開拓の成果がみられた。
- ②会員の希望する業務と受注内容がマッチングしやすいように就業情報やホームページ上に詳細に掲載した。
- ③請負契約では受注が困難である業務も、顧客先に派遣契約により受注が可能であることを説明し、派遣実績の増加に努めた。
- ④業務委員会・女性委員会が中心となり、顧客訪問活動を通して継続発注者へのお礼と問題点のヒヤリング等を実施した。
- ⑤就業者のマッチングが難航した際などに地域班長へ相談を行い、地域班協力のもと未就業会員から適任者の選任を行った。
- ⑥市民及び会員を対象として英会話教室・筆耕教室・パソコンお助け隊を月1回開催した（今年度は9月以降実施）。
- ⑦東部交流室を拠点として、筆耕関連書類や事務文書の受け渡しなど発注者・会員の利便性を向上させた。
- ⑧八王子市福祉部高齢者いきいき課と連携し、請負・派遣での就業機会拡大に向けて各所管課へのアプローチを行った。また、ボランティア要素を含む就業研修場所を提供頂くなど、公益活動の実施に関して多大なご支援をいただいた。
- ⑨特定職場機能を継続し、希望者の多い就業先については3年の就業継続期限を設け、公平な就業機会の提供に努めた。また、交替のタイミングを昨年度と同様に10月とし、年度切り替えのタイミングで発注者の混乱を招くことがないように努めた。
- ⑩ハローベビーサポート（産前・産後サポート事業）の強化を目的とし、会員に対して希望を募り、介護系や家事援助業務を含む組織化の検討を開始した。
- ⑪東京しごと財団やハローワークなどからの就業支援講習案内やシルバー人材センター以外の就労情報を開示し高齢者の広域的な就業機会拡大に努めた。

5. 会員の拡大

より多くの市内高齢者が生きがいや収入を得る機会を提供するため就業機会拡大を図るとともに、会員数を増加させるため普及宣伝活動や関係団体との連携事業を実施した。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響もあった中、入会説明会を毎月開催し、前年度比29名増となった（令和2年度末：2531名）。
- ②新会員証の未交換者に対し、理事が中心となり班長・副班長と連携し、新会員証を直接配布し、会員同士の情報共有を図り、退会者の減少に努めた。
- ③いちょう祭り、地域デビューパーティーに理事が中心となって参加し、新入会者勧誘に努めた。
- ④「おおるり」に会員募集の記事を毎号掲載し、閲覧者への協力を要請した。
- ⑤公式ホームページからの入会希望者を増やすためセンターの活動内容や魅力を伝えられるよう見直し及び頻繁な更新を行った。
また、令和4年度に向けてWEB入会説明会機能の実装をするべくプロジェクトチームを立ち上げた。
- ⑥前述の『1. 普及宣伝活動』にあるイベント参加や広報活動を通して会員募集に努めた。
- ⑦八王子市の10月1日号「広報はちおうじ」に当センターの会員募集記事を掲載していただいた。表紙に放課後子ども教室安全管理業務の就業中会員を使用していただき、大きな反響を得ることができた。
- ⑧八王子市福祉部高齢者いきいき課作成の「就労支援ハンドブック」に当センターの紹介記事を掲載していただいた。そのほか、「はちおうじ人生100年サポートブック」や「介護ナビ」といった団体紹介誌にも掲載していただくことができた。
刃物研ぎ会員の取材記事も大きく掲載していただき、他の団体紹介もある中でひと際目を引く特集となった。

6. 第3次中期5カ年計画に基づく目標に対する成果

| | 中期計画に基づく目標値 | 成 果 |
|---------------|--------------------------------------|--------------------|
| 年間受託件数 | 13,150件 | 9,851件 |
| 会 員 数 | 2,760人 | 2,560人 |
| 就 業 率 | 79.6% | 71.6% |
| 契約金額（請負） | 880,932千円 | 711,739千円 ※端数切捨 |
| 就業延べ人員 | 185,740人 | 136,520人 |
| ボランティア参加人員 | 14,580人 | 19,125人 |
| 傷害事故、賠償事故 | 0件 | 傷害12件、賠償6件 |
| ※当年度入会会員の就業実績 | 入会会員 379人 就業会員 140人 未就業会員 239人 | |

事業実績(※請負)

| 公民別 | 受託件数 | 延実人員 | 延日人員 | 契約金額 |
|-----|---------|----------|-----------|---------------|
| 公 共 | 495 件 | 14,420 人 | 63,097 人 | 304,002,216 円 |
| 民 間 | 9,356 件 | 18,175 人 | 73,423 人 | 407,737,668 円 |
| 合 計 | 9,851 件 | 32,595 人 | 136,520 人 | 711,739,884 円 |

7. 労働者派遣事業

八王子市の多大なご協力により、学校施設管理業務や交通公園管理業務などを請負契約から派遣契約に切り替えることができた。これにより適正な契約状態の維持及び派遣事業実績の増加（会員の就労環境向上）につなげることができた。

また、就業開拓専門員の活動により新規顧客の開拓既存契約先の受注内容拡大といった成果もあり、2億6千万円を超える実績を上げることができ、令和2年度に続き都内シルバー人材センターで一位の受注実績を維持している。

事業実績(※派遣)

| 公民別 | 受注件数 | 延日人員 | 契約金額 |
|-----|-------|----------|---------------|
| 公 共 | 9 件 | 24,182 人 | 165,126,095 円 |
| 民 間 | 115 件 | 13,967 人 | 100,238,893 円 |
| 合 計 | 124 件 | 38,149 人 | 265,364,988 円 |

① 四半期ごとの事業進捗会議実施（4回）

事務局長（派遣事業所長）を中心として、派遣事業担当職員・就業開拓専門員・経理担当職員にて派遣事業実施状況の進捗確認を行った。

年間での実績見込みや新規受注・就業開拓中の内容を把握するほか、トラブルの発生状況や5年の雇用期間に関する検討など派遣事業に係る課題を情報共有し、円滑な事務遂行と事業拡大に努めた。

② 産業医による健康・安全面確認（月1回）

産業医である市内の勝田医院勝田真行医師をお招きし、会員の派遣労働環境について健康状態確認や安全状況確認の重要性を周知徹底した。

8. 研修・講習・会議

事業理念、目的を踏まえた研修や能力開発により就業機会を拡大するため、役員・会員、事務局職員が以下の講習・研修に参加した。

① 公益財団法人東京しごと財団及び全国シルバー人材センター協会主催

（役員・会員）

●東京しごと財団シルバー人材センター会長会議 7月5日

●安全リーダー研修 7月19日

| | |
|-----------------------------------|---------------|
| ●新任理事研修 | 8月20日 |
| ●適正就業セミナー | 10月18日 |
| ●財団役員研修 | 11月22日 |
| ●東京しごと財団シルバー人材センター会長会議 (事務局職員) | 3月7日 |
| ●新任安全就業推進員勉強会 | 6月30日 |
| ●シルバー派遣事業実務担当者研修 | 7月27日 |
| ●事業運営に係る会計点検指導 | 9月3日 |
| ●派遣システム操作研修(基礎編) | 9月21日 |
| ●主任職員昇任研修 | 9月21日・22日・27日 |
| ●福祉・家事援助事業担当者交流会 | 9月30日・2月16日 |
| ●派遣システム操作研修(応用編) | 10月20日 |
| ●会計研修(基礎編) | 10月24日 |
| ●保険対応研修(上級) | 10月29日 |
| ●経理研修(中級) | 11月5日 |
| ●主任昇任試験 | 11月17日 |
| ●自転車安全利用講習会 | 11月18日 |
| ●財団事務局長会 | 11月26日 |
| ●ステップアップ接遇Ⅱ研修 | 11月29日 |
| ●コミュニケーション研修 | 12月1日 |
| ●メンタルヘルス研修 | 12月21日 |
| ●連合交付金実務 | 1月21日 |
| ●インボイス制度研修に係るPT会議 | 2月28日 |
| ●インボイスセミナー | 3月4日 |

② 第七ブロック(近隣センター組織)シルバー人材センター主催
(役員・会員)

| | |
|-----------------|-------|
| ●安全就業研修会 | 9月24日 |
| ●第七ブロック会長・理事長会議 | 12月6日 |
| (事務局職員) | |
| ●事務局長会議 | 月1回 |
| ●実務担当者会議 | 年9回 |
| ●安全就業研修会 | 9月24日 |

③ 八王子市シルバー人材センター独自によるもの
(役員・会員)

| | |
|----------|------------------|
| ●中部地区会議 | 4月6日・10月7日 |
| ●東南部地区会議 | 4月21日・11月1日・3月2日 |

| | |
|----------------|-------------------|
| ●西南部地区会議 | 9月9日・12月9日・3月10日 |
| ●西部地区会議 | 9月16日 |
| ●東部地区会議 | 9月16日・12月9日・3月10日 |
| ●北部地区会議 | 10月2日 |
| ●植木班実務研修 | 6月5日・3月6日 |
| ●会員向けスマホ講座 | 2月及び3月の内11日間 |
| ●健康講話「転倒とフレイル」 | 1月21日 |
| (事務局職員) | |
| ●システム活用研修 | 随時 |

④ その他の研修等

(役員・会員)

なし

(事務局職員)

| | |
|---------------------------|-----------|
| ●NR I 研修「システム操作」 | 6月25日 |
| ●東京社会保険協会セミナー「社会保険」 | 7月4日 |
| ●安全衛生責任者試験対策講座 | 7月19日・20日 |
| ●東京社会保険協会セミナー「労災・雇用保険」 | 8月8日 |
| ●派遣元責任者講習 | 8月19日 |
| ●NR I 研修「経理」 | 10月28日 |
| ●NR I 研修「年末調整」 | 11月25日 |
| ●NR I 研修「オンラインセキュリティ対策」 | 12月16日 |
| ●八王子市観光コンベンション協会「M I C E」 | 12月16日 |
| ●府中市シルバー人材センター視察 (OCR) | 12月27日 |
| ●NR I 研修「事務デジタル化」 | 1月20日 |
| ●NR I 研修「決算事務」 | 1月28日 |
| ●NR I 研修「統計」 | 3月25日 |

9. 組織活動

会員全体の組織活動を推進し、自主・自立、共働・共助の発展に努めた。

① 地域班活動

5地区から6地区への移行後も、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置により、地区会議や班長会議が開催できない状況が続いた。なお、東部地区では東部交流室の活用について東部会員全員に対しアンケート調査を実施した。

② 職種班活動

植木、除草はコロナ禍であっても徐々に令和元年度程度の受注に戻りつつあり、マスクの着用など感染防止対策を施しながら就業を進めた。また、表装、家事援

助、パソコンなど個人宅においての受注も、感染状況を考慮しながらの就業であった。

③ 定時社員総会

新型コロナウイルス感染症対策のため、やむなく役員を中心とした少数での開催となった。

④ 事務局の適正運営

業務システムのクラウド化・社内サーバーシステムの構築等によるセキュリティ対策やUSBメモリー使用に関する制限、個人情報書類の持ち出し制限等を徹底しコンプライアンスを意識した運営を行った。

また職員のOA事務能力強化を図るため、エクセルソフト使用に関する委託契約を行い職員へのレクチャーや事務省力化のためのツール製作を行った。

10. 安全対策

「安全はすべてに優先する」をスローガンに掲げ、センター活動のみならず、会員が安全に生活できるよう情報提供を実施した。

東京しごと財団が選考する「令和3年度安全就業標語」テーマ1「危険予知」の最優秀作品に八王子市会員の「安全確認 惜しむな 省くな 手を抜くな」が選考された。

① 安全衛生委員会での健康状況確認

月1回の安全衛生委員会で、産業医の勝田医師から健康状態に関するご指導をいただいた。また、転倒予防・フレイルの講話など安全意識向上の研修を実施した。

② 安全巡回の実施

月1回の安全巡回を通して植木手入れや施設管理など様々な就業場所に安全管理委員会委員が訪問し、安全指導を実施した。

③ 「おおり」での啓発

東京都で2020年4月から自転車保険が義務化となったことから、会員に対して損害賠償保険への加入を促した。その他、夏季には熱中症対策に関する案内や事故状況の報告、危険作業の注意などを時季に合わせて周知徹底した。

④ 安全大会へ参加

東京しごと財団が主催する、都内シルバー人材センターが集う安全大会に参加し、「令和3年度安全就業標語」の最優秀作品賞表彰を受けた。

11. ボランティア活動

地域委員会を主体とし、以下のとおり様々なボランティア活動を実施した。広報配布時の見守りを継続して実施することで中期計画目標である14,580人を大きく上回る結果となった。

また、八王子市福祉部高齢者いきいき課・高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）と連携した、地域で発生する独居高齢者宅の異変等を迅速に報告

する「見守り活動」を行うことで事故防止に努めた。

- | | | |
|------------------|-----------|----------------|
| ① 広報配布時見守り | 19,025 人日 | 通年 |
| ② 浅川河川敷清掃 | 63 名 | 11 月 27 日 |
| ③ いちょう祭り清掃 | 37 人 | 11 月 20 日～22 日 |
| ④ フードバンク・子ども食堂支援 | 5 回持込 | 12 月～3 月 |

※市各事務所ほか市施設の環境整備については今年度実施せず。

12. 諸会議の開催

- | | | |
|----------|------|------------------|
| ① 定時社員総会 | 1 回 | 令和3年6月16日(水)実施 |
| ② 理事会 | 12 回 | 月1回(6月臨時理事会1回開催) |
| ③ 三役会会議 | 3 回 | 4月～6月 |
| ④ 四役会会議 | 9 回 | 7月～3月 |
| ⑤ 常任委員会 | | |

緊急事態宣言・まん延防止等重点措置のため、原則月1回開催の各委員会は、定例どおり委員が対面で会合することができず、3回・4回の実施であったが、スマートフォンやPCを活用したリモート開催を実施した委員会もあった。就業対策委員会については毎月10日、25日に発行する就業情報の会員選考を実施するため、通年開催とした。

⑥ 業務監査

令和3年度より新たに開始し、令和4年度の本格始動に向けてプレ開催を行った。

(総務委員会) 12 回

- 会員の増強及び研修に関すること。
- 新入会員の説明会及び面接に関すること。
- 組織管理に関すること。
- 財政、予算・決算に関すること。
- 総会に関すること。
- 市民及び会員交流事業の計画実施に関すること。
- 事務の合理化に関すること。

(業務委員会) 10 回

- 各職種班の取りまとめ。
- 職種班新設の検討

(地域委員会) 10 回

- 新会員証の交換
- 班長・副班長の任期について
- シルバー読本班長副班長編
- 地区活動について
- ボランティア活動について

(広報委員会) 8回

- センター広報誌「生きがい八王子」編集作業
- ホームページ小委員会の設置
- PR活動の企画、実施

(安全管理委員会) 9回

- 安全巡回
- 就業時の安全管理、注意喚起
- ヒヤリハット
- 安全標語
- 安全パトロール対応

(女性委員会) 10回

- きさらぎ班と共にフードバンク・子ども食堂支援ボランティア事務局前と東部交流室に「えがおボックス」を設置
- 販売事業について視察
- 講習会の企画立案
- 女性会員の増強に関する取組
- 家事援助就業開拓に関する取組

(就業対策委員会) 24回+特定職場選考対応

- 就業会員の人選に関する事。
- 会員の就業上の問題に関する事。

(業務監査) 10回

- 監事による委員会・事務局に対する業務の適正確認
- 各委員会委員長の事業実施に関する随時ヒヤリング

13. その他の事業

- きさらぎ班 やさしい体操 9月29日
- 高尾山ハイキング 12月10日・3月3日
- 英会話教室 4月～3月(19回)
- おおるり書道教室 4月～11月(6回)
- すみれ会書道教室 4月～3月(7回)